

1. 歯科技工士の養成に関する事業

(1) 北海道歯科技術専門学校の運営並びに歯科技工士の養成に努める。

平成30年度の新入学生は38名で、卒業生は28名、歯科技工士国家試験は28名が受験し全員合格した。

2. 歯科技工士の技術の向上に関する事業

(1) 歯科医療従事者を対象とした実技講習会を下記の通り、開催した。

実技講習会 I

- 日 程:平成30年10月27日(土) 午後1時～午後5時・28日(日)午前10時～午後3時
- 会 場:北海道歯科技術専門学校附属研究所
- 参加費:15,000円 (講習料、28日の昼食代、模型およびフレーム等の材料費を含む)
- 定員:10名
- テーマ:カーリングリキットと外部ステインを使用した前歯、白歯のフルゾルニアクラウンの製作と概要
- 講 師:吉澤 琢真 先生 (T.A.C.Dent field)
- 内 容:CAD/CAMで製作した松風社製ルーセント(前歯)およびVita社製YZ(白歯)を用いたフルゾルニアクラウンをカーリングと外部ステインの技法を用いて天然歯の色調再現方法の実習を行った。

実技講習会 II

- 日 程:平成30年11月18日(日) 午前10時～午後5時
- 会 場:北海道歯科技術専門学校附属研究所
- 参加費:20,000円 (講習料、昼食代、模型およびフレーム等の材料費を含む)
- 定 員:12名
- テーマ:歯肉の審美的再現
- 講 師:関 錦二郎 先生 (関錦二郎商店)
- 内 容:ハイブリッドタイプ硬質レジンでの歯肉再現にフォーカスを絞り、新製品のハイブリッドタイプ硬質レジン「セラマージュ デュオ」とフロータイプの「セラマージュ アップ」、またステイン材に「ライトアート」を使用し、自身が考案するアナミカル・ジンジバル・シェーディングテクニックおよびジンジバルキャラクターライズの実習を行った。

(2) 卒後教育の場として付属研究科を設置し、更に高度な技術指導を行う。

平成30年度は22名の研修希望者があり、臨床実習を交えた高度な技工技術修得について研鑽し22名が全課程を修了した。

3. 口腔衛生の普及に関する事業

(1) 平成30年8月8日(水)北広島三井アウトレットモール、平成30年6月28日(木)29日(金)・平成31年3月19日(火)20日(水)札幌地下歩行空間にて一般対象に歯科技工物の展示、歯科技工作業のデモンストレーション等を行い口腔衛生に関する啓発活動を行った。

(2) 学校祭を一般公開(平成30年9月30日)し、歯科関連の展示物閲覧を通じて口腔衛生に関する啓発活動を行った。